

## 形成外科 乳房再建(腹部皮弁)術を受けられる方へ



本人・家族

患者名 @PATIENTNAME 様

主治医:

看護師:

サイン

日時	/		/		/		/	
経過	処置前日	手術日				1日目	2日目	
		術前		術後				
達成目標	手術の準備が出来る	安全に手術を受けることが出来る	<ul style="list-style-type: none"> <li>手術部位に負担をかけない過ごし方が出来る</li> <li>バイタルサインが安定している</li> <li>創痛コントロールが出来ている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>手術部位に負担をかけない過ごし方が出来る</li> <li>バイタルサインが安定している</li> <li>創痛コントロールが出来ている</li> </ul>			
治療 処置 薬剤	<ul style="list-style-type: none"> <li>静脈血栓予防のための弾性ストッキングを準備します</li> <li>ネームバンドをつけます</li> <li>麻酔科の診察があります</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>弾性ストッキングをはきます</li> <li>手術着を着用します</li> <li>身につけているもの(時計・入れ歯・コンタクトレンズなど)を外してください</li> <li>長い髪は結んでください</li> </ul>	持続点滴と抗生剤の点滴があります 酸素とモニターを明日の回診までつけます  背中と乳房の創部に管が入っています 膝下に枕を入れます メドマをつけます 指示時間に皮弁の観察をします		点滴がありますが、食事が半分以上とれるようになれば、抜きます。  傷の状態によって処置があります			
検温	 入院時	6時	帰宅後1・2・4時間後に観察します		6時・10時・14時・18時 	3回 		
安静 リハビリ	制限ありません		ベッドアップ30度まで 		ベッドアップ60度まで	ベッドアップ90度まで		
清潔	<ul style="list-style-type: none"> <li>シャワーをして、洗髪もしてください</li> <li>爪切りをしてください</li> </ul>				ベッド上で体を拭いたり洗面をします。			
排泄	手術前の排尿を済ませて下さい		おしっこの管が入っています					
食事	食事・水分の制限については、オリエンテーション用紙をご参照下さい 		帰宅後4時間で、腸の動きをみて水分・食事が開始になります		食事は特別な制限が無い限り、低残渣食となります 			
説患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>入院生活、手術準備について看護師が説明します</li> <li>手術・麻酔について医師から説明があります</li> <li>手術・麻酔の同意症を提出してください</li> <li>手術の必要物品を準備してください</li> </ul>		手術中、家族の方はお部屋か デイルームでお待ちください  		<ul style="list-style-type: none"> <li>手術下側の乳房・脇の下は圧迫しないようにしましょう</li> <li>手術側を下にして横になるのは禁止です。反対側は軽く(30度程度)なら 横向きになれます</li> <li>手術した側の腕は、肩より高く上げないようにしましょう</li> <li>腹帯が乳房にかかって圧迫しないように注意しましょう</li> </ul>			

病名、入院期間等は現時点で考えられるものであり、治療・検査等を進めるにしたがって変わることがあります。

日時	/	/	/	/ ~ /	/	/
経過	3日目	4日目	5日目	6日目~13日目	14日目	15日目
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>手術部位に負担をかけない</li> <li>過ごし方が出来る</li> <li>バイタルサインが安定している</li> <li>創痛コントロールが出来ている</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活動作に支障が無い</li> <li>創部に異常が無い</li> <li>38度以上の発熱がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活動作に支障が無い</li> <li>創部に異常が無い</li> <li>38度以上の発熱がない</li> <li>退院の準備が出来ている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安心して退院できる</li> </ul>
治療 処置 薬剤	<p>傷の状態によって処置があります メドマを外します</p> <p>お腹と乳房の創部に管が入っています。排液量が少なくなれば抜きます。</p> <p>膝下に枕を入れます 検温時に皮弁の観察をします</p>				創部の処置方法を説明します	
検温	1回(体温は3回) 					6時に測定します
安静 リハビリ	端坐位・ポータブル便器まで	回診時見守り歩行	病棟内歩行が出来ます	7日目から院内歩行が出来ます		
清潔	ベッド上で体を拭いたり洗面をします。	お腹の管が抜けたら下半身、乳房の管が抜けたら全身のシャワーが翌日から出来ます				
排泄	おしっこの管が入っています	トイレ歩行が出来たら管を抜きます				<ul style="list-style-type: none"> <li>次回外来受診日は退院時に説明します</li> <li>診察券を必ずお受け取りください</li> <li>異常がありましたら、外来受診してください。</li> </ul>
食事		トイレ歩行が出来たら、治療食以外の方は普通食に戻ります				
説患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>手術下側の乳房・脇の下は圧迫しないようにしましょう</li> <li>手術側を下にして横になるのは禁止です。反対側は軽く(30度程度)なら横向きになれます</li> <li>手術した側の腕は、肩より高く上げないようにしましょう</li> <li>腹帯が乳房にかかって圧迫しないように注意しましょう</li> </ul>					